

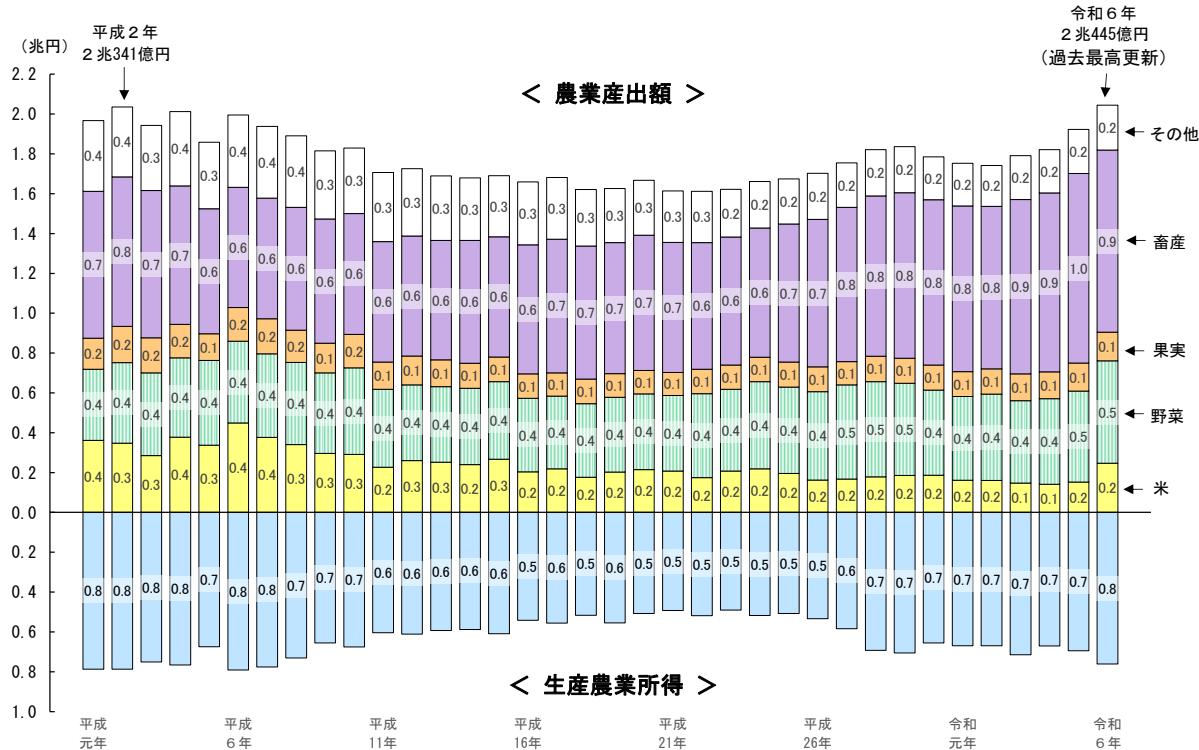
令和6年農業産出額及び生産農業所得（九州）

令和6年における九州の農業産出額は2兆445億円となり、過去最高額を更新した。

【統計結果の概要】

- 令和6年における九州の農業産出額は、米や野菜の価格が上昇したこと等から、前年に比べ1,219億円(6.3%)増加し、2兆445億円となり、過去最高であった平成2年の2兆341億円を104億円上回り、最高額の更新となった。
- 令和6年における九州の生産農業所得は、農産物の価格が上昇したこと等から、前年に比べ653億円(9.4%)増加し、7,605億円となった。

図1 農業産出額及び生産農業所得の推移（九州）



注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

本資料は、九州農政局ホームページ「統計情報」の「令和7年度農林水産統計調査公表予定及び公表結果」でご覧いただけます。【https://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/ht_all_press_R07.html】

【統計結果（主要部門の動向）】

1 耕種

米の産出額は、前年に比べ 948 億円（62.5%）増加し、2,466 億円となった。

これは、主食用米の取引価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

また、野菜の産出額は、前年に比べ 570 億円（12.5%）増加し、5,139 億円となった。

これは、天候不順や夏場の高温障害等によって生産量が減少し、価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

2 畜産

鶏の産出額は、前年に比べ 426 億円（12.3%）減少し、3,036 億円となった。

これは、鶏卵（産出額 725 億円。対前年増減率 30.1% 減少）において、令和4年10月以降に発生した鳥インフルエンザの影響により減少した生産量が回復し、価格が低下したこと加え、プロイラー（同 2,165 億円。同 5.1% 減少）においても、高値基調となっていた価格が、前年に比べ低下したこと等が寄与したものと考えられる。

3 加工農産物

加工農産物の産出額は、前年に比べ 4 億円（2.5%）増加し、162 億円となった。

これは、荒茶（同 114 億円。同 5.6% 増加）において価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

図2 直近5か年の農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（九州）

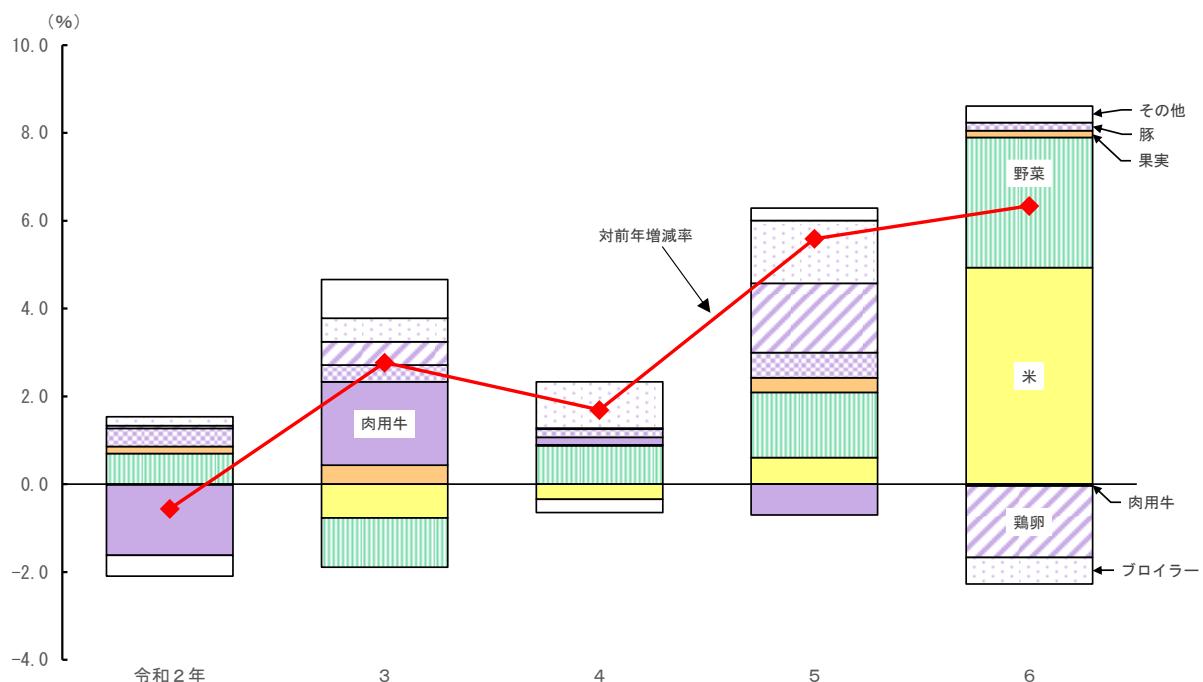
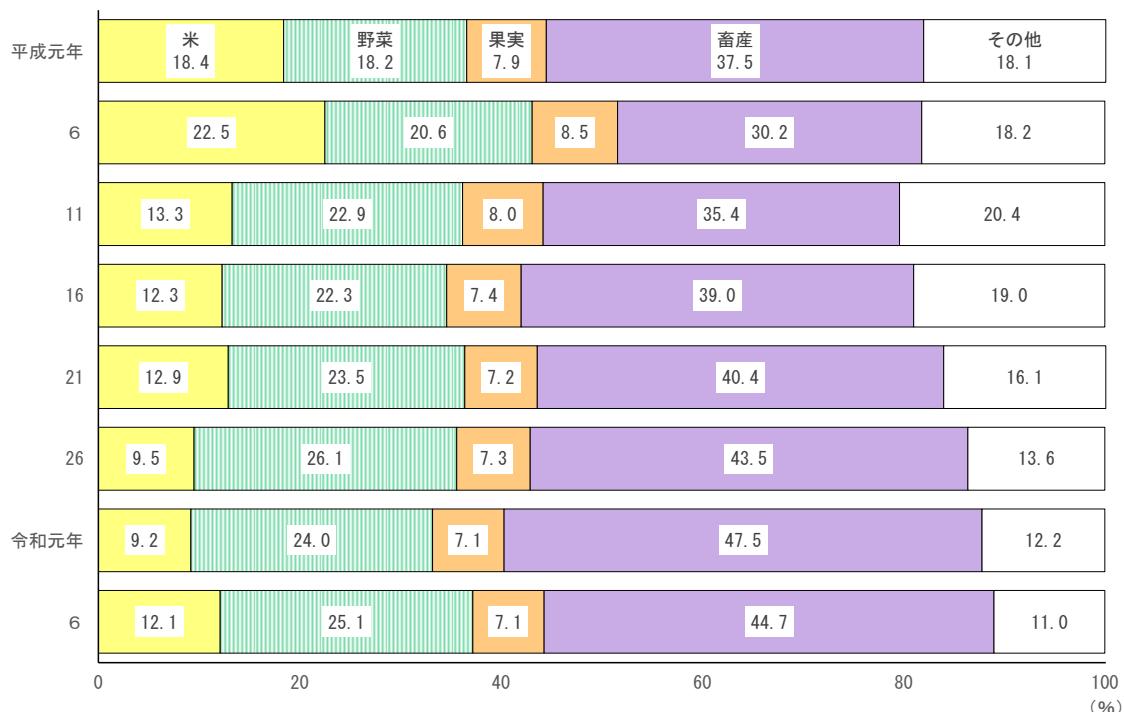


表1 直近5か年の農業産出額及び生産農業所得（九州）

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	億円	億円	億円	億円	億円	%
17,422	17,905	18,208	19,226	20,445	6.3	
耕種計	9,123	8,982	9,065	9,557	11,144	16.6
うち米	1,603	1,469	1,408	1,518	2,466	62.5
いも類	597	616	583	602	707	17.4
野菜	4,336	4,141	4,298	4,569	5,139	12.5
果実	1,273	1,349	1,353	1,413	1,443	2.1
花き	563	600	667	698	675	△ 3.3
工芸農作物	481	535	492	485	490	1.0
うち茶（生葉）	189	219	223	208	219	5.3
畜産計	8,156	8,751	8,978	9,511	9,139	△ 3.9
うち肉用牛	2,839	3,169	3,199	3,072	3,064	△ 0.3
乳用牛	801	804	771	781	814	4.2
うち生乳	681	700	690	711	734	3.2
豚	1,941	2,008	2,042	2,147	2,183	1.7
鶏	2,526	2,719	2,908	3,462	3,036	△ 12.3
うち鶏卵	654	746	750	1,037	725	△ 30.1
プロイラー	1,739	1,833	2,022	2,282	2,165	△ 5.1
加工農産物	144	172	166	158	162	2.5
生産農業所得	6,690	7,154	6,701	6,952	7,605	9.4

図3 農業産出額の構成割合の推移（九州）



【統計結果（各県の動向）】

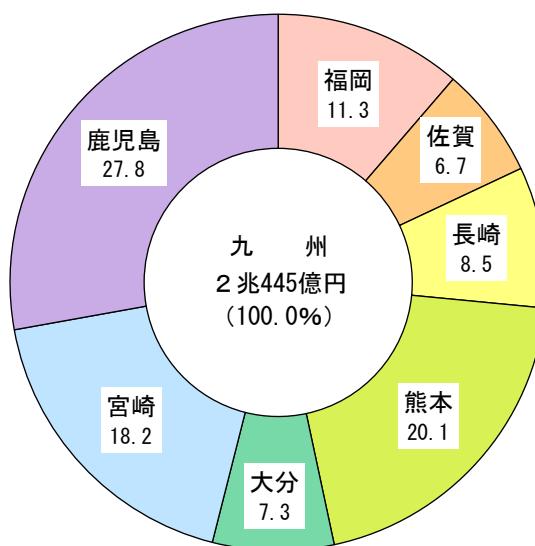
1 農業産出額

令和6年における九州各県の農業産出額は、福岡県が2,301億円（対前年増減率9.8%増加）、佐賀県が1,372億円（同6.9%増加）、長崎県が1,745億円（同9.7%増加）、熊本県が4,116億円（同9.6%増加）、大分県が1,498億円（同11.6%増加）、宮崎県が3,725億円（同0.1%増加）、鹿児島県が5,689億円（同4.6%増加）となった。

表2 直近5か年の農業産出額（九州各県）

区分	令和2年 億円	3 億円	4 億円	5 億円	6	
					実額 億円	対前年 増減率 %
九 州	17,422	17,905	18,208	19,226	20,445	6.3
福 岡	1,977	1,968	2,021	2,096	2,301	9.8
佐 賀	1,219	1,206	1,307	1,284	1,372	6.9
長 崎	1,491	1,551	1,504	1,590	1,745	9.7
熊 本	3,407	3,477	3,512	3,757	4,116	9.6
大 分	1,208	1,228	1,245	1,342	1,498	11.6
宮 崎	3,348	3,478	3,505	3,720	3,725	0.1
鹿 児 島	4,772	4,997	5,114	5,438	5,689	4.6

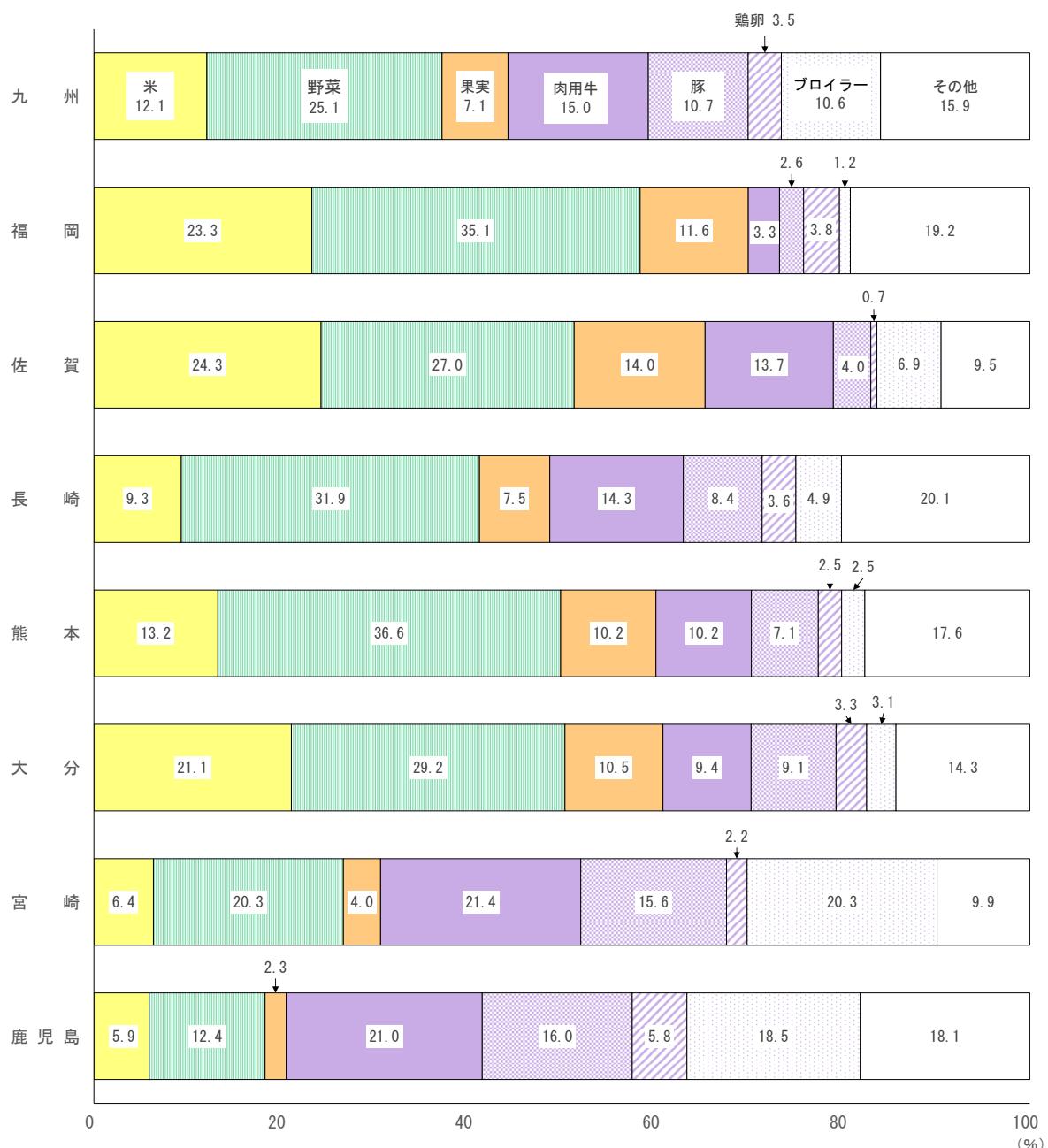
図4 農業産出額の各県構成割合（九州）



2 農業産出額の構成割合（主要部門・品目）

- (1) 令和6年における九州各県の農業産出額の構成割合をみると、福岡県では野菜、米、果実、佐賀県では野菜、米、果実、長崎県では野菜、肉用牛、米、熊本県では野菜、米、果実及び肉用牛、大分県では野菜、米、果実、宮崎県では肉用牛、野菜及びブロイラー、豚、鹿児島県では肉用牛、ブロイラー、豚の順となっている。
- (2) 北九州では耕種部門の占める割合が高く、南九州では畜産部門の占める割合が高い傾向にある。

図5 農業産出額の構成割合（九州各県）



【福岡県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ29億円(7.2%)減少し、加工農産物が前年に比べ1億円(8.3%)減少したものの、耕種が前年に比べ234億円(13.9%)増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ205億円(9.8%)増加し、2,301億円となった。

表3 直近5か年の農業産出額及び生産農業所得(福岡県)

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	1,977	1,968	2,021	2,096	2,301	9.8
耕種計	1,584	1,560	1,608	1,683	1,917	13.9
うち米	344	327	328	338	536	58.6
いも類	12	13	9	9	10	11.1
野菜	707	668	686	734	807	9.9
果実	239	257	266	267	266	△ 0.4
花き	159	165	185	188	172	△ 8.5
工芸農作物	22	24	26	25	24	△ 4.0
畜産計	383	397	402	402	373	△ 7.2
うち肉用牛	66	75	83	79	77	△ 2.5
乳用牛	95	97	89	80	82	2.5
うち生乳	78	83	78	73	74	1.4
豚	51	47	54	55	59	7.3
鶏	164	170	168	180	149	△ 17.2
うち鶏卵	111	113	111	118	88	△ 25.4
ブロイラー	25	30	28	30	27	△ 10.0
加工農産物	10	10	12	12	11	△ 8.3
生産農業所得	921	904	890	938	1,064	13.4

表4 農業産出額上位10品目(福岡県)

単位: 億円										
区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
品目	米	いちご	ぶどう	鶏卵	肉用牛	生乳	ねぎ	なす	豚	みかん
実額	536	233	95	88	77	74	66	62	59	50
対前年増減率(%)	58.6	△ 4.5	△ 4.0	△ 25.4	△ 2.5	1.4	15.8	10.7	7.3	0.0

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、ねぎ、レタス、キャベツ等において全国的に品薄状態となった冬場の価格が高騰したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、主に鶏の産出額が減少した。

これは、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵の生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図6 農業産出額の推移（福岡県）

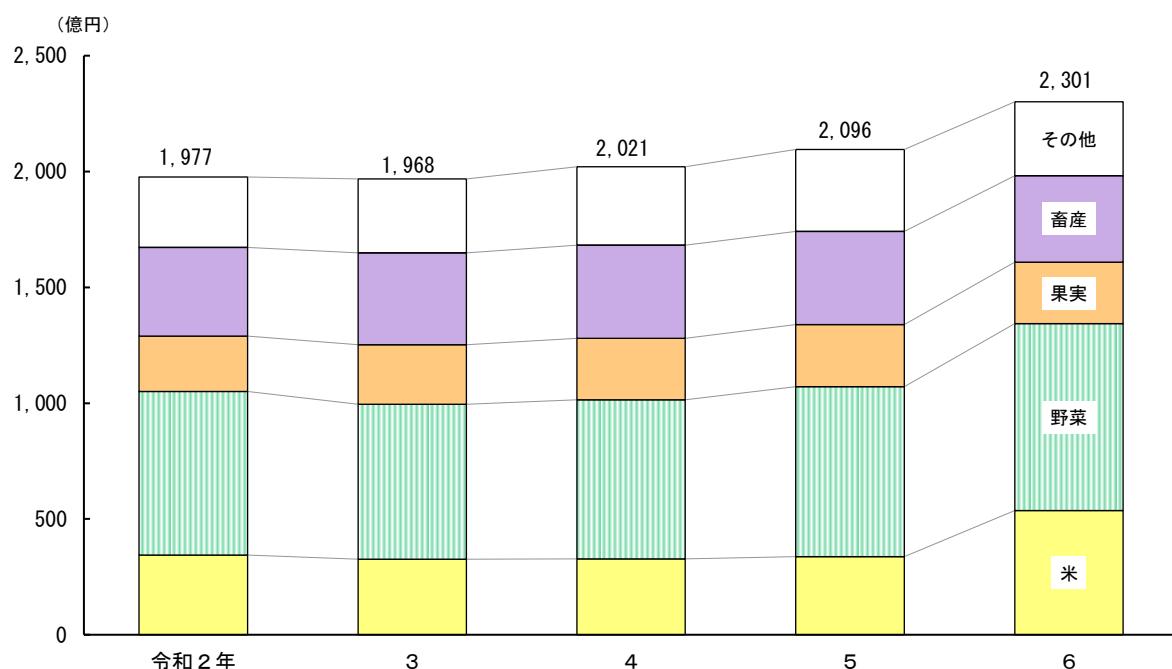
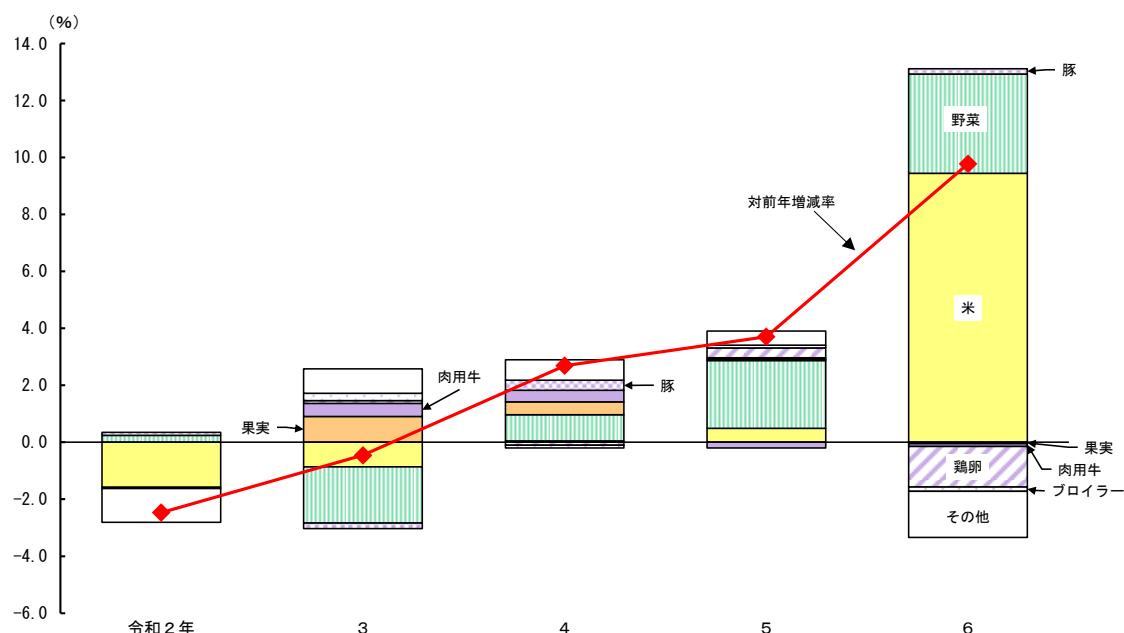


図7 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（福岡県）



【佐賀県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ10億円(2.6%)減少し、加工農産物が前年に比べ1億円(20.0%)減少したものの、耕種が前年に比べ98億円(10.9%)増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ88億円(6.9%)増加し、1,372億円となった。

表5 直近5か年の農業産出額及び生産農業所得(佐賀県)

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	億円	億円	億円	億円	億円	%
1,219	1,206	1,307	1,284	1,372	6.9	
耕種計	873	845	939	901	999	10.9
うち米	227	223	229	245	333	35.9
いも類	7	5	4	5	6	20.0
野菜	343	309	415	331	371	12.1
果実	197	204	183	201	192	△ 4.5
花き	33	35	40	42	40	△ 4.8
工芸農作物	17	21	18	17	16	△ 5.9
畜産計	342	356	363	378	368	△ 2.6
うち肉用牛	162	181	182	185	188	1.6
乳用牛	20	19	18	17	17	0.0
うち生乳	17	16	16	15	16	6.7
豚	52	51	51	55	55	0.0
鶏	105	101	109	118	105	△ 11.0
うち鶏卵	12	13	12	16	9	△ 43.8
ブロイラー	91	87	96	101	94	△ 6.9
加工農産物	4	5	5	5	4	△ 20.0
生産農業所得	628	609	630	609	672	10.3

表6 農業産出額上位10品目(佐賀県)

区分	単位: 億円									
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
品目	米	肉用牛	みかん	たまねぎ	ブロイラー	いちご	豚	きゅうり	アスパラガス	れんこん
実額	333	188	127	94	94	84	55	48	25	21
対前年増減率(%)	35.9	1.6	△ 8.6	32.4	△ 6.9	△ 7.7	0.0	20.0	△ 3.8	5.0

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、たまねぎ、きゅうり等の価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、主に鶏の産出額が減少した。

これは、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵、ブロイラーの生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図8 農業産出額の推移（佐賀県）

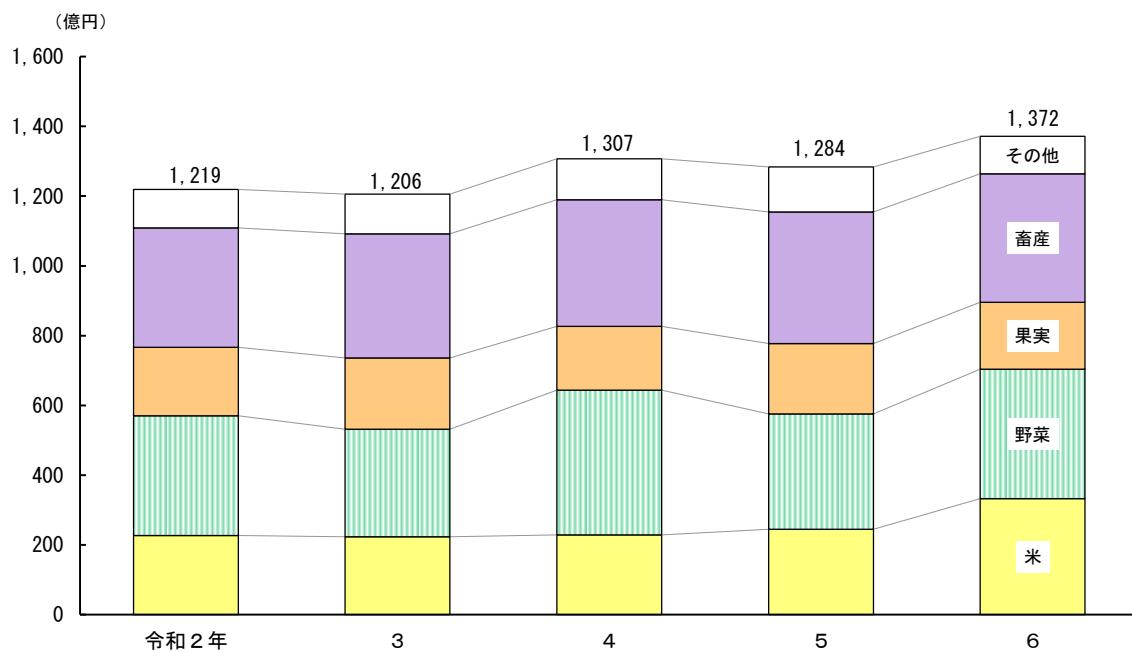
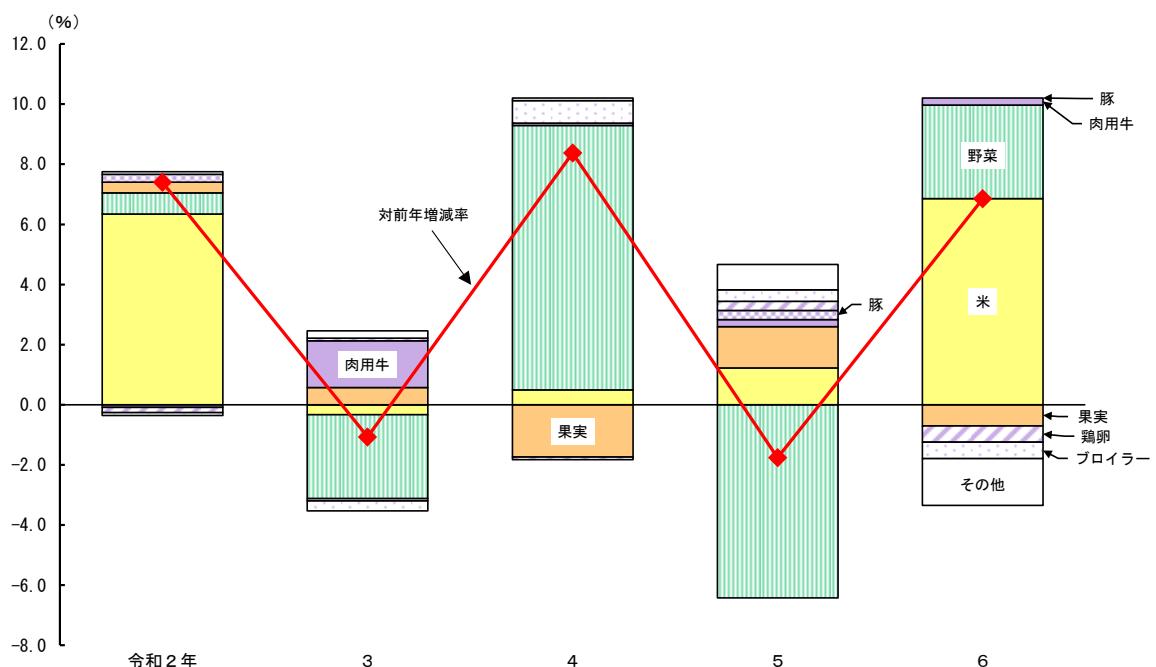


図9 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（佐賀県）



【長崎県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ26億円(4.1%)減少したものの、耕種が前年に比べ182億円(19.0%)増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ155億円(9.7%)増加し、1,745億円となった。

表7 直近5か年の農業産出額及び生産農業所得（長崎県）

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
	億円	億円	億円	億円	億円	%
農業産出額	1,491	1,551	1,504	1,590	1,745	9.7
耕種計	957	969	906	960	1,142	19.0
うち米	104	105	90	101	163	61.4
いも類	124	154	108	123	166	35.0
野菜	471	439	449	472	556	17.8
果実	140	151	130	139	131	△ 5.8
花き	68	73	82	89	90	1.1
工芸農作物	33	33	30	28	26	△ 7.1
畜産計	532	579	596	627	601	△ 4.1
うち肉用牛	234	265	275	250	249	△ 0.4
乳用牛	58	56	52	53	55	3.8
うち生乳	49	48	46	48	49	2.1
豚	129	125	136	142	147	3.5
鶏	109	131	130	182	149	△ 18.1
うち鶏卵	42	52	54	92	63	△ 31.5
ブロイラー	67	78	75	89	85	△ 4.5
加工農産物	2	3	3	2	2	0.0
生産農業所得	593	605	548	561	637	13.5

表8 農業産出額上位10品目（長崎県）

単位：億円										
区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
品目	肉用牛	米	ばれいしょ	豚	いちご	みかん	ブロイラー	鶏卵	生乳	レタス
実額	249	163	158	147	132	95	85	63	49	47
対前年増減率(%)	△ 0.4	61.4	37.4	3.5	3.9	△ 9.5	△ 4.5	△ 31.5	2.1	56.7

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、レタス、にんじん等において全国的に品薄状態となった冬場の価格が高騰したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、主に鶏の産出額が減少した。

これは、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵の生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図 10 農業産出額の推移（長崎県）

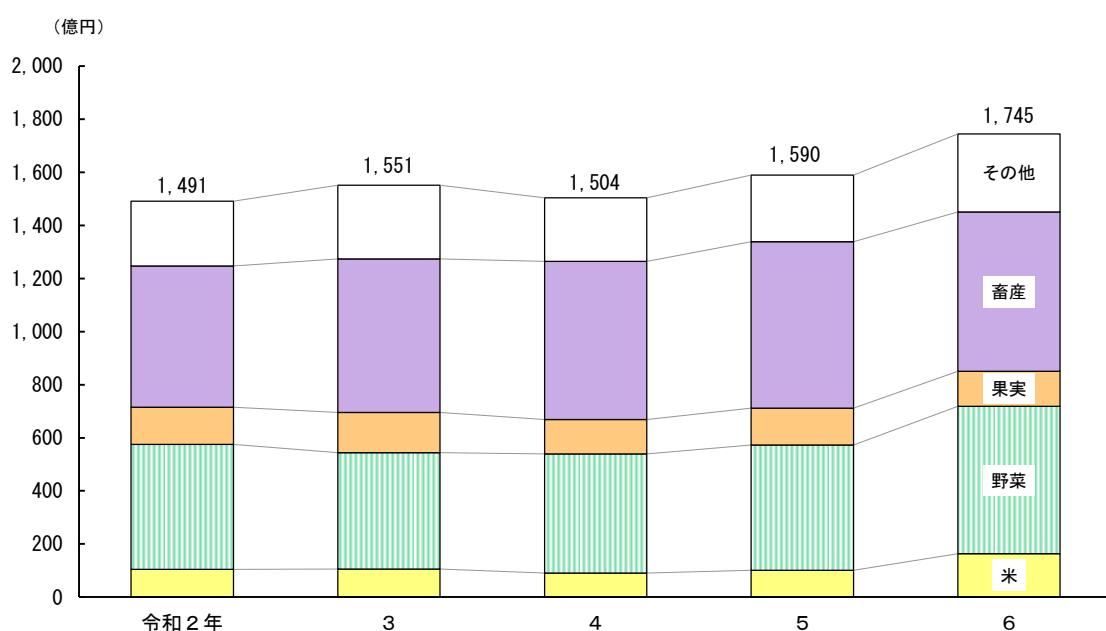
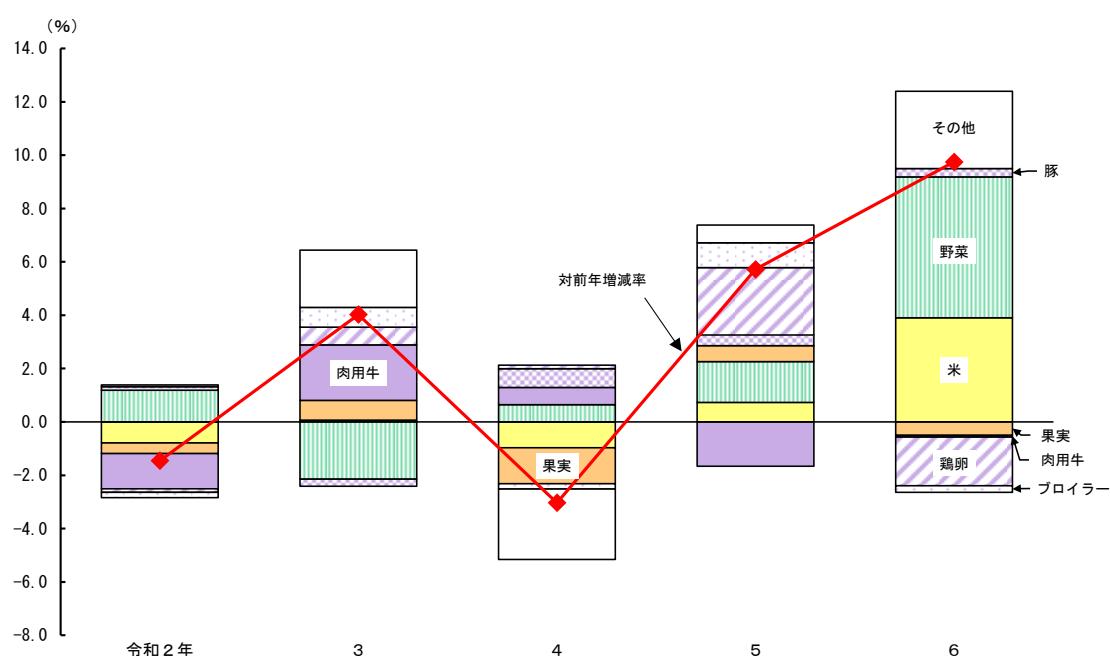


図 11 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（長崎県）



【熊本県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ24億円(1.8%)減少したものの、耕種が前年に比べ384億円(16.2%)増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ359億円(9.6%)増加し、4,116億円となった。

表9 直近5か年の農業産出額及び生産農業所得（熊本県）

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	3,407	3,477	3,512	3,757	4,116	9.6
耕種計	2,186	2,135	2,170	2,368	2,752	16.2
うち米	361	302	277	328	545	66.2
いも類	56	61	62	61	66	8.2
野菜	1,221	1,186	1,248	1,365	1,508	10.5
果実	338	362	362	391	419	7.2
花き	86	94	107	117	123	5.1
工芸農作物	79	89	73	76	67	△ 11.8
畜産計	1,192	1,318	1,323	1,371	1,347	△ 1.8
うち肉用牛	400	454	452	435	420	△ 3.4
乳用牛	339	341	332	352	371	5.4
うち生乳	290	300	299	317	332	4.7
豚	227	255	265	265	294	10.9
鶏	196	236	238	285	232	△ 18.6
うち鶏卵	81	100	100	146	103	△ 29.5
ブロイラー	95	107	114	112	102	△ 8.9
加工農産物	29	25	19	18	18	0.0
生産農業所得	1,495	1,485	1,446	1,554	1,744	12.2

表10 農業産出額上位10品目（熊本県）

単位：億円										
区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
品目	米	トマト	肉用牛	生乳	豚	みかん	いちご	すいか	メロン	なす
実額	545	437	420	332	294	207	168	126	126	116
対前年増減率(%)	66.2	9.3	△ 3.4	4.7	10.9	8.4	5.0	6.8	△ 0.8	1.8

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、トマト、キャベツ、にんじん等の価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、肉用牛、鶏の産出額が減少した。

これは、肉用牛については、子牛の出生頭数が減少したこと、鶏については、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵、プロイラーの生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図 12 農業産出額の推移（熊本県）

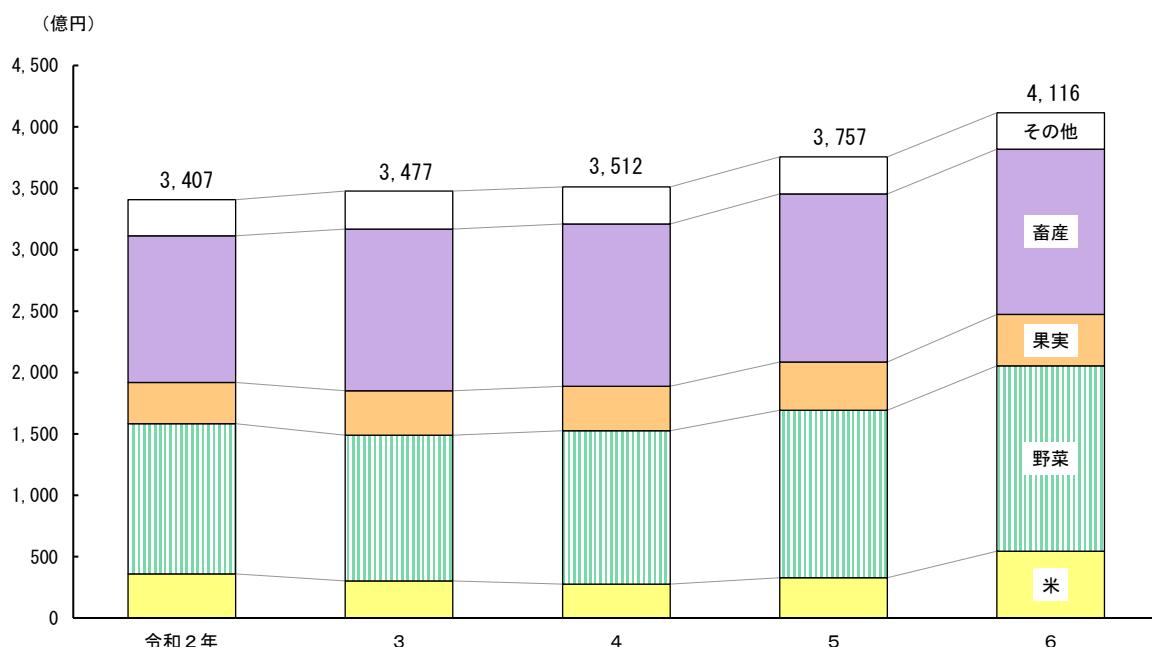
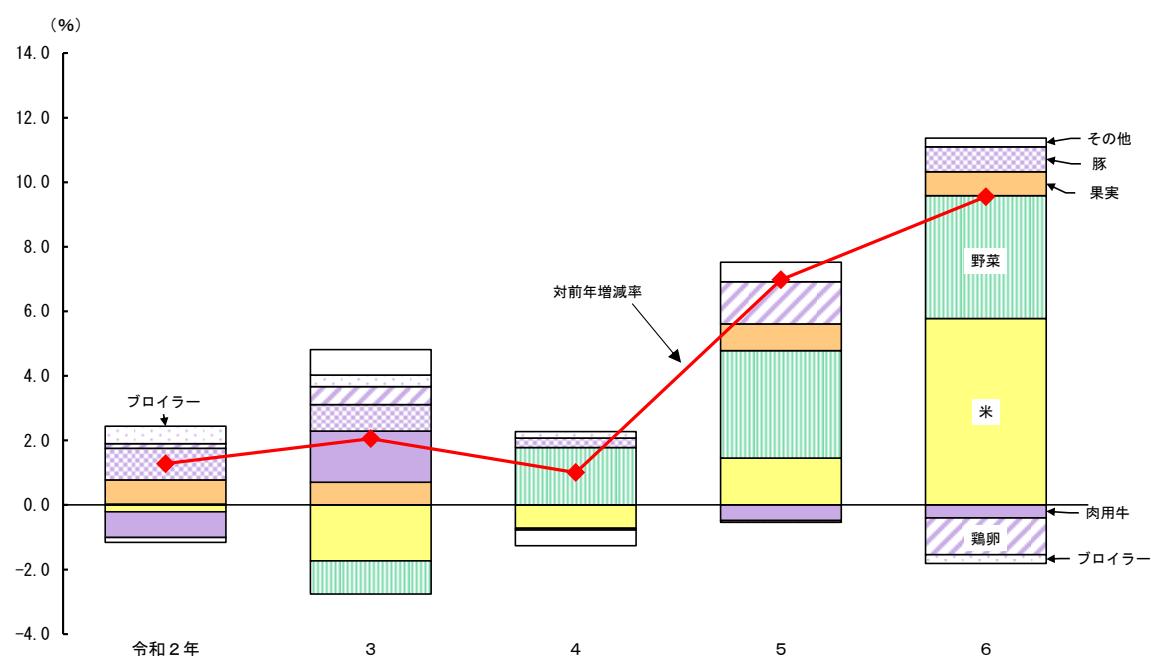


図 13 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（熊本県）



【大分県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ 12 億円 (2.4%) 減少し、加工農産物が前年に比べ 3 億円 (37.5%) 減少ししたものの、耕種が前年に比べ 169 億円 (20.1%) 増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ 156 億円 (11.6%) 増加し、1,498 億円となった。

表 11 直近 5 か年の農業産出額及び生産農業所得（大分県）

区分	令和 2 年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	1,208	1,228	1,245	1,342	1,498	11.6
耕種計	771	754	764	839	1,008	20.1
うち米	187	178	172	188	316	68.1
いも類	23	21	22	26	27	3.8
野菜	351	332	336	393	438	11.5
果実	131	140	156	156	157	0.6
花き	44	47	51	48	44	△ 8.3
工芸農作物	19	20	16	15	16	6.7
畜産計	430	465	472	496	484	△ 2.4
うち肉用牛	117	139	153	150	141	△ 6.0
乳用牛	89	90	87	89	94	5.6
うち生乳	79	81	81	83	87	4.8
豚	105	112	108	121	136	12.4
鶏	117	122	122	134	113	△ 15.7
うち鶏卵	38	47	46	60	49	△ 18.3
ブロイラー	62	57	58	56	47	△ 16.1
加工農産物	8	9	9	8	5	△ 37.5
生産農業所得	528	521	501	537	630	17.3

表 12 農業産出額上位 10 品目（大分県）

単位：億円										
区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
品目	米	肉用牛	豚	ねぎ	生乳	鶏卵	ブロイラー	トマト	いちご	みかん
実額	316	141	136	110	87	49	47	43	35	33
対前年増減率(%)	68.1	△ 6.0	12.4	8.9	4.8	△ 18.3	△ 16.1	16.2	12.9	△ 5.7

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、ねぎ、トマト等の価格が上昇したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、肉用牛、鶏の産出額が減少した。

これは、肉用牛については、子牛の出生頭数の減少及び価格が低下したこと、鶏については、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵、ブロイラーの生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図 14 農業産出額の推移（大分県）

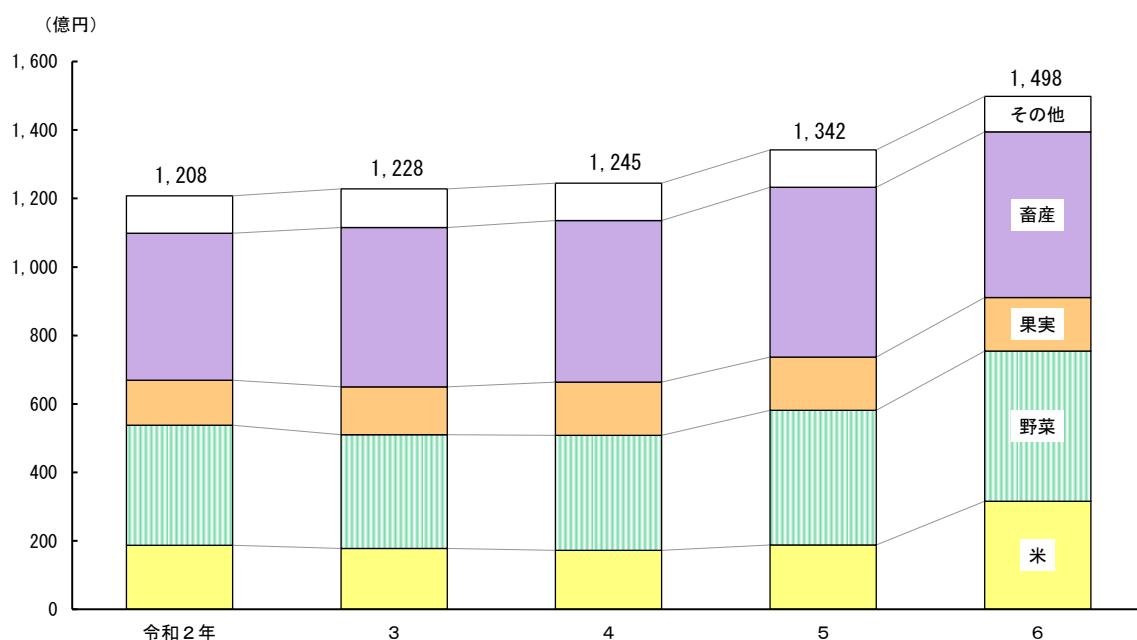
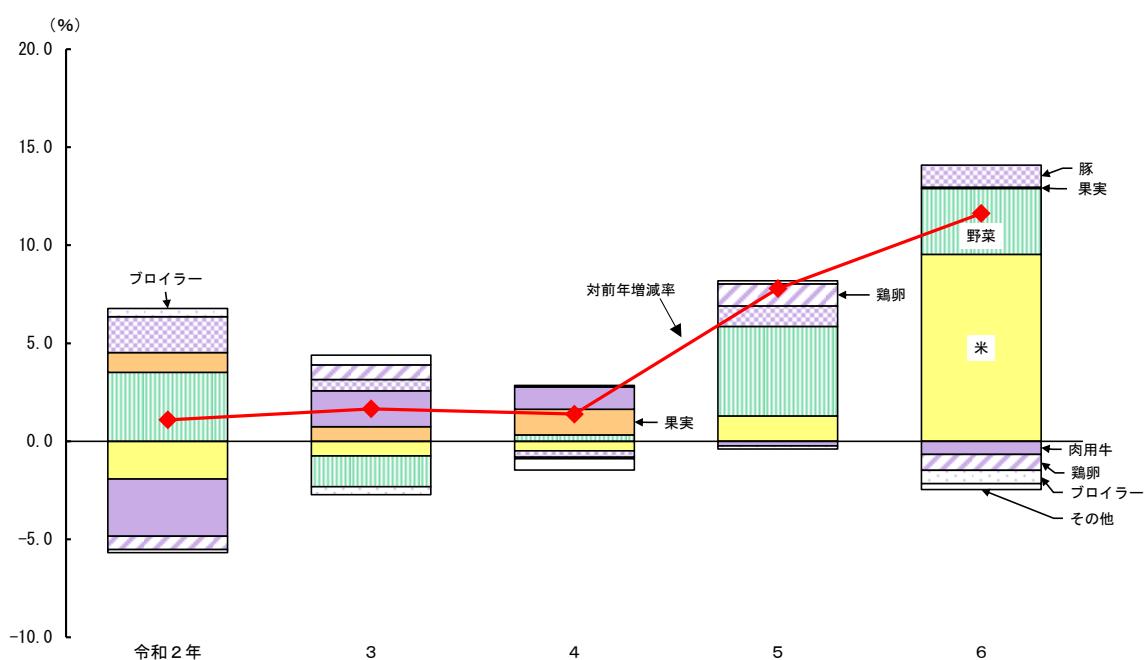


図 15 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（大分県）



【宮崎県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ 139 億円 (5.6%) 減少し、加工農産物が前年に比べ 1 億円 (2.6%) 減少ししたものの、耕種が前年に比べ 146 億円 (12.2%) 増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ 5 億円 (0.1%) 増加し、3,725 億円となった。

表 13 直近 5 か年の農業産出額及び生産農業所得（宮崎県）

区分	令和 2 年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	3,348	3,478	3,505	3,720	3,725	0.1
耕種計	1,170	1,139	1,119	1,197	1,343	12.2
うち米	173	159	142	146	237	62.3
いも類	70	60	73	68	81	19.1
野菜	681	661	633	700	756	8.0
果実	129	130	145	148	148	0.0
花き	60	69	77	87	78	△ 10.3
工芸農作物	41	43	32	32	27	△ 15.6
畜産計	2,157	2,308	2,349	2,483	2,344	△ 5.6
うち肉用牛	708	815	826	765	797	4.2
乳用牛	95	98	95	94	98	4.3
うち生乳	80	84	82	86	88	2.3
豚	521	518	520	600	580	△ 3.3
鶏	830	875	905	1,023	868	△ 15.2
うち鶏卵	97	106	113	166	82	△ 50.6
プロイラー	700	739	762	827	756	△ 8.6
加工農産物	21	32	37	39	38	△ 2.6
生産農業所得	1,112	1,317	1,194	1,219	1,235	1.3

表 14 農業産出額上位 10 品目（宮崎県）

単位：億円										
区分	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
品目	肉用牛	プロイラー	豚	米	きゅうり	ピーマン	生乳	鶏卵	かんしょ	トマト
実額	797	756	580	237	208	119	88	82	74	64
対前年増減率(%)	4.2	△ 8.6	△ 3.3	62.3	6.1	△ 3.3	2.3	△ 50.6	21.3	4.9

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、だいこん、キャベツ等において全国的に品薄状態となった冬場の価格が高騰したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、豚、鶏の産出額が減少した。

これは、豚については、出荷頭数の減少及び価格が低下したこと、鶏については、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵、プロイラーの生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図 16 農業産出額の推移（宮崎県）

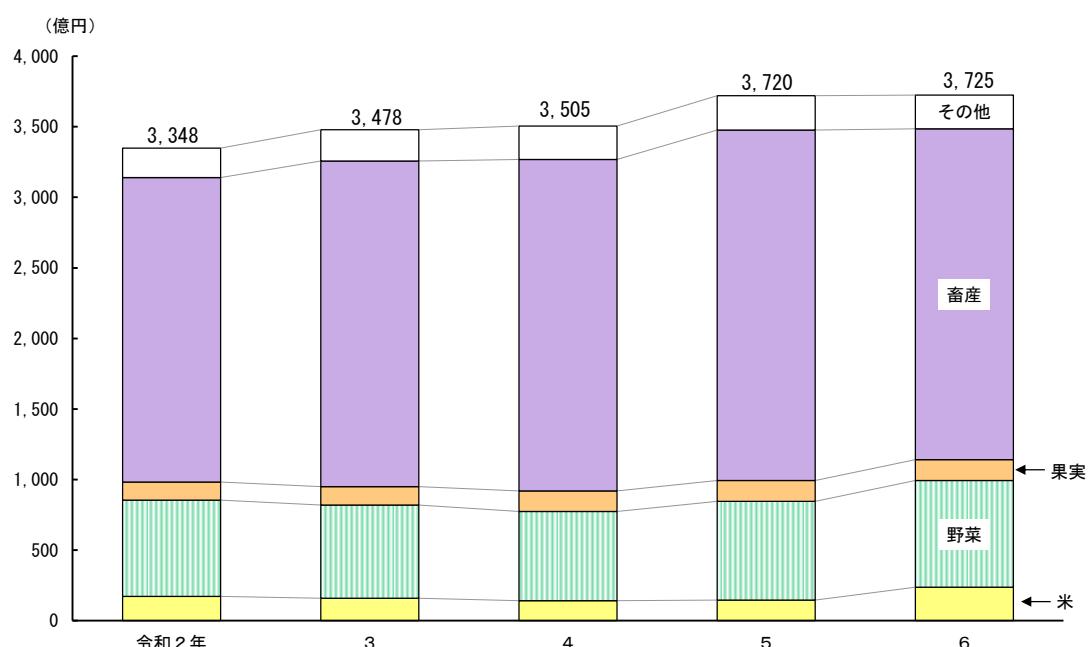
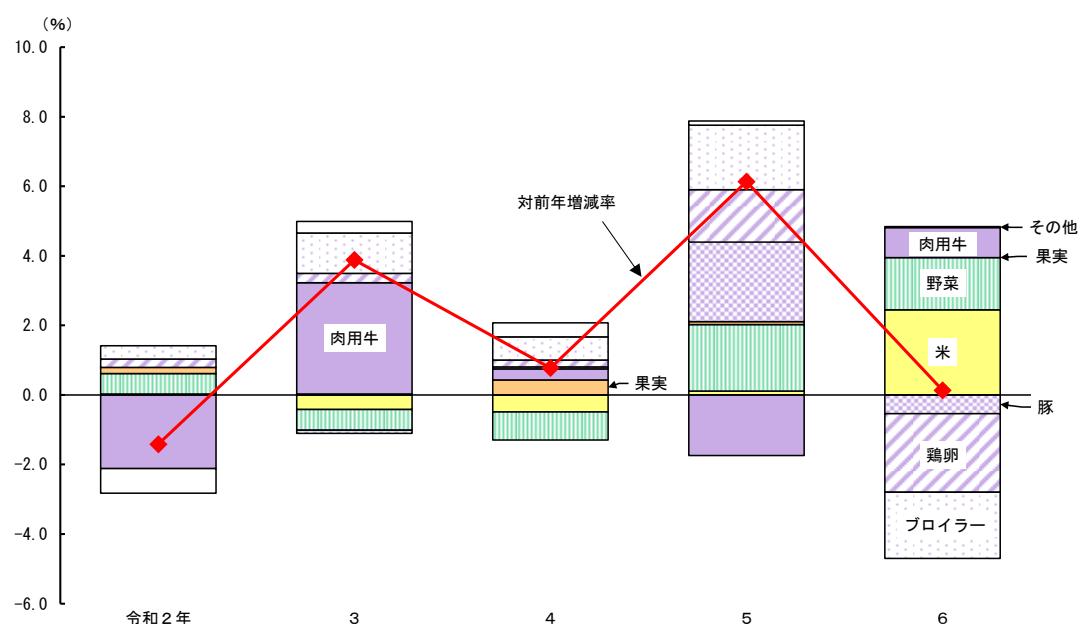


図 17 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（宮崎県）



【鹿児島県の概要】

1 農業産出額

畜産が前年に比べ 132 億円 (3.5%) 減少したものの、耕種が前年に比べ 374 億円 (23.2%) 増加し、加工農産物が前年に比べ 9 億円 (12.0%) 増加したことから、農業産出額合計では、前年に比べ 251 億円 (4.6%) 増加し、5,689 億円となった。

表 15 直近 5 か年の農業産出額及び生産農業所得（鹿児島県）

区分	令和2年	3	4	5	6	
					実額	対前年増減率
農業産出額	4,772	4,997	5,114	5,438	5,689	4.6
耕種計	1,582	1,580	1,560	1,609	1,983	23.2
うち米	208	176	169	173	336	94.2
いも類	305	301	305	310	352	13.5
野菜	562	545	531	573	704	22.9
果実	98	105	112	112	129	15.2
花き	113	118	125	127	128	0.8
工芸農作物	270	305	297	293	315	7.5
畜産計	3,120	3,329	3,473	3,754	3,622	△ 3.5
うち肉用牛	1,151	1,240	1,228	1,208	1,192	△ 1.3
乳用牛	106	103	98	96	97	1.0
うち生乳	89	88	88	88	88	0.0
豚	856	900	909	910	912	0.2
鶏	1,005	1,084	1,237	1,540	1,420	△ 7.8
うち鶏卵	273	316	316	439	332	△ 24.4
ブロイラー	699	736	889	1,067	1,054	△ 1.2
加工農産物	70	88	81	75	84	12.0
生産農業所得	1,415	1,712	1,493	1,534	1,623	5.8

表 16 農業産出額上位 10 品目（鹿児島県）

単位：億円										
区分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
品目	肉用牛	ブロイラー	豚	米	鶏卵	かんしょ	茶（生葉）	さとうきび	ばれいしょ	キヤベツ
実額	1,192	1,054	912	336	332	223	157	137	129	89
対前年増減率(%)	△ 1.3	△ 1.2	0.2	94.2	△ 24.4	14.4	12.1	0.0	12.2	85.4

2 主要部門の産出額の動向

耕種では、主に米や野菜の産出額が増加した。

これは、米については、主食用米を中心に価格が上昇したこと、野菜については、キャベツ、だいこん等において全国的に品薄状態となった冬場の価格が高騰したこと等が寄与したものと考えられる。

畜産では、主に鶏の産出額が減少した。

これは、鳥インフルエンザの影響により減少した鶏卵の生産量が回復し、価格が低下したこと等が寄与したものと考えられる。

図 18 農業産出額の推移（鹿児島県）

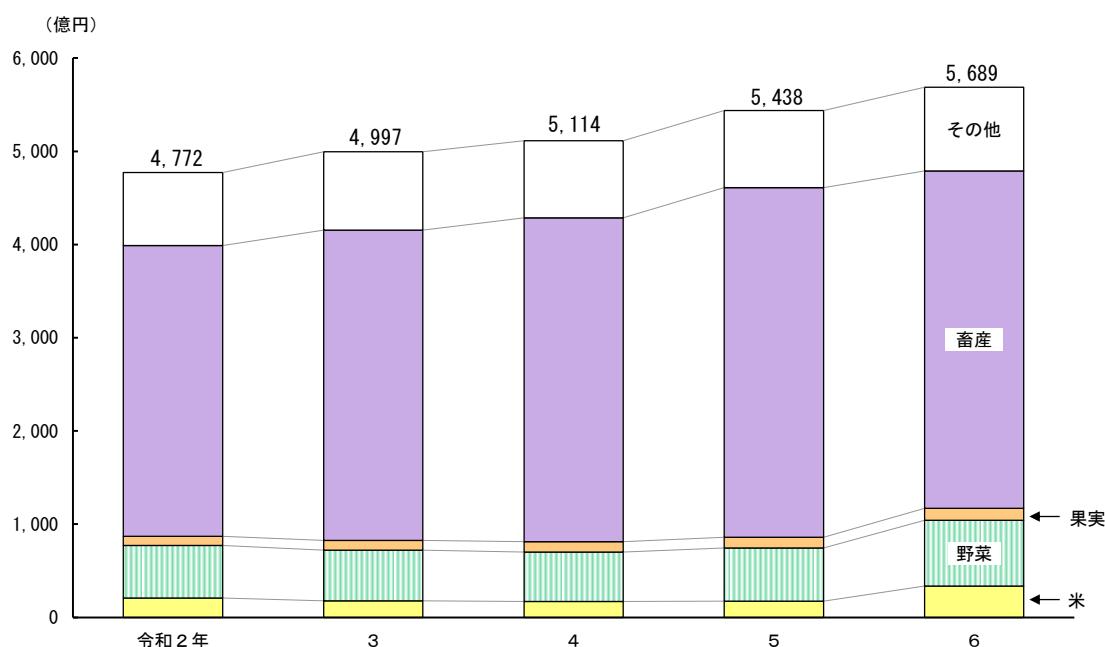
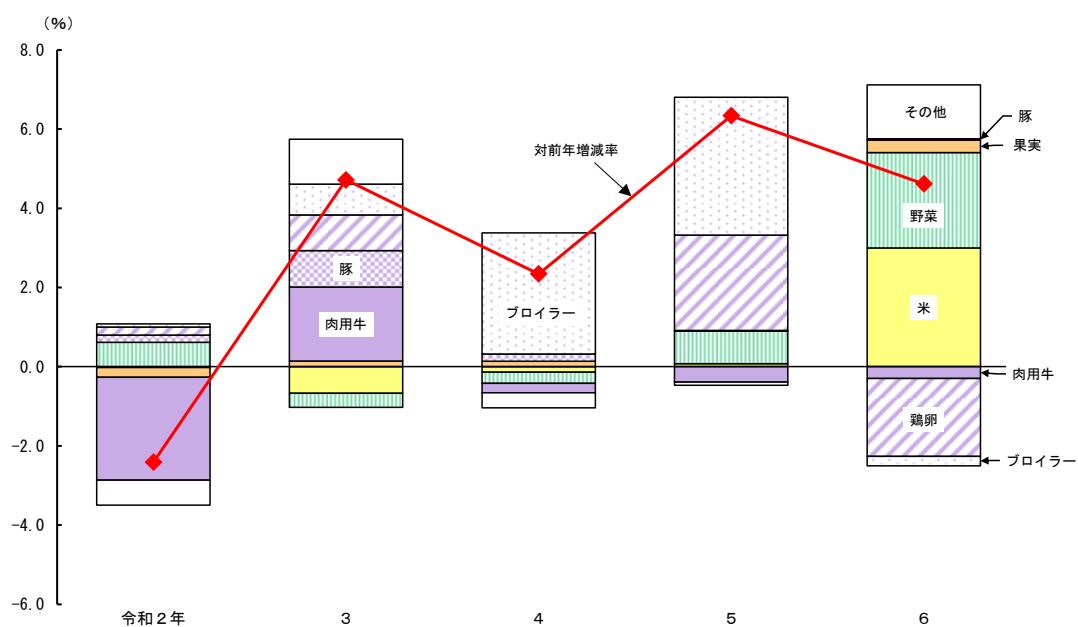


図 19 農業産出額の対前年増減率と部門別寄与度の推移（鹿児島県）



【統計表】

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/press/toukei/attach/xls/251223-1.xls>



【調査の概要】

- 生産農業所得統計の目的、推計期間、推計範囲、統計の作成方法について、農林水産省ホームページの「生産農業所得統計の概要」でご覧いただけます。



https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/gaiyou/index.html#1

【統計結果の主な利活用】

- 農業諸施策、地域振興計画の策定・評価等の資料
- 国民経済計算、産業連関表、県民経済計算等の作成のための資料
- 激甚災害制度における激甚災害指定基準のための資料

【ホームページ掲載案内】

- 九州の各種農林水産統計調査結果は、九州農政局ホームページの「統計情報」でご覧いただけます。



<https://www.maff.go.jp/kyusyu/toukei/index.html>

- 生産農業所得統計の全国の結果は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」の「生産農業所得統計」でご覧いただけます。



https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/index.html

- 各品目の順位等に関する情報は、MAFF 統計ダッシュボードの分野別分類「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」の「農業産出額及び生産農業所得」でご覧いただけます。



https://www.maff.go.jp/j/tokei/dashboard/data/nougyou_sansyutu.html

お問合せ先

- 本統計結果について
九州農政局 統計部 経営・構造統計課（経営統計第2係長）
電 話：（代表）096-211-9111 内線 4985
（直通）096-300-6551
- 農林水産統計全般について
九州農政局 統計部 統計企画課（企画係長）
電 話：（代表）096-211-9111 内線 4923
（直通）096-300-6540



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<https://www.e-stat.go.jp/>

